





セージ



アジュール



あらすじ

奴隸出身のセージは『星見のヒソク』である妹の代わりに、青の王・アジュールの所有物となり『星見』として王宮で過ごすことになる。だが、『緑の王』となつたヒソクの死により、ヒソクは次の『緑の王』となつてしまふ。王となつた今、自ら死ぬことを許されないセージは夢で会ったヒソクの言葉を信じ、王として生きることを決めるが…。



セーブルとも
初対面では
なさそうだな

緑の王になる前から
ギュールズと知り合いだつた
というだけでも不思議だが

今そういう目で
見ていただろう?



なあ
アジュール

しかしヴァートは
元はといえば
おまえの女では
なかつたか?



紫色の礼服を
着てるから
この人が紫の王か…

すばしく綺麗な人!

わたしだけ
仲間はずれとは
ひどいではないか



青の王に向かつて
あんな風に話す人は
初めてだ…



その通りです…



——パーピュア
いい加減にしておけ

第一
王同士は恋など
できないのだからな

荒れきった西方の統治に
追われてうつつを抜かす
ヒマもなくなるだろう

だとしたら
おまえたち
助かつたな

ヴァートが
青の女のままでいれば
ややこしいことになつたが
もうそんな心配は無用だ

チラ…



「王同士は
恋に落ちても
抱き合うことはできない」

黒の王も同じことを
言つていたな…

そりこねば……













